

「浄化槽フォーラム」の設立について

1 「浄化槽ビジョン」における取りまとめ

今年1月に中央環境審議会の浄化槽専門委員会において取りまとめられた「浄化槽ビジョン」において、水環境の保全を図る取組については、地域において河川、湖沼等における水環境の保全や親水活動を行っているNPO等と連携して行われることが効果的であり、NPO等の全国的な情報交換のネットワーク作りが重要である旨の取りまとめがなされた。

2 「浄化槽フォーラム」の設立

浄化槽ビジョンの取りまとめを受け、浄化槽に関するNPOのネットワークの形成、意見交換の場の創設、一般住民、NPO等における情報の共有化等を目的に、今年の5月に市民団体や学識者が自ら中心となって「浄化槽フォーラム」が設立された（別紙1）。

また、6月には、この設立を記念したシンポジウムが開催され、有識者によるパネルディスカッション、講演、浄化槽カットモデルの展示等が行われた（別紙2）。

「浄化槽フォーラム」設立の趣旨について

環境保全上健全な水循環を構築するためには、工場等からの排水のみならず、家庭等から排出される生活排水の対策が重要になっています。

生活排水対策については、これを支える住民による活動については、行政任せにしておくのではなく、住民一人一人が、環境保全上の重要性を理解し行動することが理想ですが、3Rや地球温暖化防止に関する活動が年々活性化しているのと比べると、生活排水処理の多くが住民の目から見えにくいものであるためか、期待されるほどには、進んでいないのが現状です。

また、地域において河川、湖沼等における水環境の保全や親水活動の推進について熱心に取り組まれている方々も多数おられますが、これらについても、多くの場合、特定の水域を中心とした活動であるがゆえに、交流が限定されており、活動の方法や科学的な知見等、その活動を更に高めるために必要な情報を交換する全国的なネットワークが構築されていない現状にあります。

そこで、日常生活の中で生活排水処理を行うことにより、その環境保全効果を身近に体験できる生活・環境実感型施設として、住民の環境意識を高めることができる浄化槽を通じて、水に関する環境保全活動をより活性化させるとともに、NPO等関係者の全国的な情報交換のネットワーク作りを行うため、関係者の方々に御参集いただき「浄化槽フォーラム」を立ち上げるに至ったものです。

浄化槽フォーラム 理事会名簿（敬称略）

- 代 表 神 山 桂 一 循環（くるくる）ネットワーク北海道代表
- 副代表 北 尾 高 嶺 豊橋技術科学大学名誉教授
- 理 事 赤 星 たみこ 漫画家・エッセイスト
- 理 事 幾 島 淑 美 綾瀬川を愛する会代表
- 理 事 大 石 昌 男 N P O 法人東京湾と荒川・利根川・多摩川を
結ぶ水フォーラム代表理事
- 理 事 小 野 由美子 N P O 法人富士市のごみを考える会理事長
- 理 事 窪 山 邦 彦 N P O 法人遠賀川流域住民の会理事長
- 理 事 高 橋 万里子 N P O 法人水環境ネット東北専務理事
- 理 事 廣 瀬 省（社）全国地区衛生組織連合会理事長
- 理 事 藤 井 絢 子 滋賀県環境生活協同組合理事長
- 理 事 升 秀 夫 N P O 法人水辺基盤協会副理事長
- 理 事 山 本 卓 曹 N P O 瀬戸内里海振興会理事長

（五十音順）

NPO等関係者による浄化槽フォーラム設立

記念シンポジウムの開催

日時 6月20日(水) 14:00～17:00

場所 東京厚生年金会館(Ｂ1階「ロイヤルホール」)

(東京都新宿区新宿5-3-1 電話:03-3356-1111 代表)

次第

主催者あいさつ 神山 桂一 浄化槽フォーラム代表

来賓

あいさつ 若林 正俊 環境大臣

あいさつ 松下 鉄男(社)全国浄化槽団体連合会会長

あいさつ 三浦 大助 全国合併処理浄化槽普及促進
市町村協議会会長

第一部 パネルディスカッション「汚水処理施設としての浄化槽」
コーディネーター

大森 英昭(財)日本環境整備教育センター理事

パネリスト

赤星 たみこ(漫画家・エッセイスト)

大石 昌男(NPO法人東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ
水フォーラム代表理事)

西川 裕(熊本県津奈木町長)

第二部 講演

「浄化槽ビジョンを活かす」

加藤 三郎(中央環境審議会浄化槽専門委員会委員長)

その他

浄化槽カットモデルの出展、パネル展示(浄化槽導入後の効果
事例)

主催 浄化槽フォーラム

共催 環境省